

那覇市二要素認証システム更新・運用保守業務  
提案審査評価基準

別紙3

(審査区分：提案審査)

項目	評価の視点
(1) 実施体制	
① 実施体制	責任者・主任・従事者等の業務遂行体制、システム稼働直後の支援体制、保守管理体制、保守期間中の支援体制等、プロジェクト管理組織等が明確になり、信頼できる体制となっているか。
② 協力連携事業者体制について	協力連携事業者がいる場合、システムの導入体制、事業者の役割分担、要員、資格等が明確になっているか。
(2) 実績	
提案事業者の実績・経歴から、安全・安定性を見込むことができるか。 協力連携事業者がいる場合、実績・経歴から、安全・安定性を見込むことができるか。	
(3) システム導入について	
① システム導入に関する全体方針	二要素認証システムの全体方針や各システムの関連性が記述され那覇市の要望が満たされているか。
② 導入プロジェクトの管理方法	進捗管理、品質管理、課題・障害管理、コミュニケーション管理等の手法や、これらを管理するためのツールやドキュメントテンプレートなど、円滑にプロジェクトを管理・推進するための手法が提示されているか。
③ 導入・稼働スケジュール	構築、仮稼働、本稼働までのスケジュールが、本市が提示する本稼働日やシステム移行期間を満たしているか。 リスクがあるポイントが明確になっており、現実的な対応策が示されているか。
(4) 提案システムについて	
① システムの概要	提案するシステムの概要、特徴、特性、導入効果、仕様書への適合性等が示されているか。
② システムの動作環境	運用保守業務期間内において、最新クライアントOSの導入や最新ブラウザへの更新が行われた場合における対応手法、解決手段について示されているか。
③ 認証機能の操作性・利便性	離席時等のロック機能、解除機能等、業務効率を考えたシステムになっているか。 認証精度は十分か。 認証方法によるセキュリティ確保（なりすまし防止等）は十分か。
④ 認証方式の選定理由	各認証方式のメリット、デメリットを踏まえ、提案する認証方式が選定されているか。
(5) システム機器構成	
機器の選定基準や、特徴、性能（処理能力）などを、信頼性、拡張性、情報セキュリティの観点から十分に考慮された構成となっているか。 二要素認証導入端末1,700台及びユーザ2,000人に対応できる構成になっているか。	
(6) 受託者と本市の作業区分について	
① システム導入に関する業務	導入時において、仕様書に基づいた具体的な作業区分、役割分担が明確になっており、職員の負担を軽減するための有効な手法が示されているか。
② システム維持・保守	システム運用保守期間において、仕様書に基づいた具体的な作業区分、役割分担が明確になっており、職員の負担を軽減するための有効な手法になっているか。
(7) 安定稼働について	
① 安定稼働	冗長性を確保するための手法や障害監視手法、データバックアップ手法について具体的に示されているか。
② 安定運用までのサポート	安定運用するまでの間におけるサポート内容について具体的に示され、十分な内容となっているか。
③ 管理体制	運用保守期間の管理体制は適切か。
④ ユーザー登録について	年次切替等の際、職員でのユーザ情報（所属等）及び権限の一括登録・変更処理を行えるか。 随時登録等、各課職員で登録作業が必要な場合、容易に登録が行えるか。
(8) システム運用保守業務について	
① システム運用保守業務方針	システム監視手法や、障害管理、ハードウェア・ソフトウェア保守管理方法や方針は適切か。
② オペレーション対応	システム運用中のオペレーション対応内容は適切か。
③ 障害発生時への対応	問題や障害発生時における対応手順フロー、復旧作業フローなどが明確に示されているか。
④ 報告手法	運用保守期間中の報告手法や内容について明確に示されているか。
(9) 次期システム移行について	
次期システムへの移行時に、ユーザ情報、認証情報、設定情報などを提供する等方法は、移行に支障がでないよう柔軟に対応できる内容となっているか。	
(10) 追加提案等	
追加提案は、システム構築、利用、運用管理する上で本市にとって有用な内容か。	
(11) デモンストレーション	
登録から認証の一連の手順が、認証精度やレスポンスを含めて本市の要求を十分に満たすものとなっているか。 認証手順は簡潔か。	